

平成25年度 第1回 富士見市都市計画審議会 会議録

会議日時	平成25年8月19日(月)					開会	午前 9時45分		閉会	午前11時20分	
会議場所	市長公室		出席者数		委員定数14名中 出席者12名						
出席者	委員	1号	会長	木内 芳 弘		2号	職務代理	尾崎 孝 好			
			委員	谷 澤 誠			委員	深瀬 優 子			
			委員	柳 田 政 男			委員	金 子 勝			
			委員	千 種 秀 信			委員	川 畑 勝 弘			
		3号	委員	栗 原 昭		委員	梅 田 昌 照				
			委員	中澤 佳珠代		委員	世羅 陽一郎				
			委員			委員					
	臨時委員	なし		参考人	なし						
幹事	新 井 健 司										
事務局職員及び担当説明員	<p>【事務局担当】 友光まちづくり推進部副部長兼産業振興課長、斉藤まちづくり推進課長、川崎市街地整備課長、平澤副課長、斉藤主査、田之上主事</p> <p>【説明担当員】 新井建設部長、橋本下水道課長、佐藤副課長、新井副課長、厚澤主査</p>										
欠席委員	田 中 正 伸 ・ 小 森 和 雄										
議長	木 内 芳 弘			担当書記		田之上 侑司					

会 議 事 項

1 開 会 新井 幹事

2 市長あいさつ 星野 市長

3 会長の選出

市長が仮議長に就き、会長選出を進行した。

富士見市都市計画審議会条例第5条第1項の規定に基づき1号委員から選出する。

会長の立候補者または指名推薦を確認したところ、「木内委員」が推薦され、委員に諮り承認された。

4 会長あいさつ 木内 会長

5 会長職務代理者の指名

富士見市都市計画審議会条例第5条第3項の規定により、「尾崎委員」を会長職務代理者として指名、承認された。

※会長職務代理者あいさつ 尾崎 職務代理

(市 長 退 席)

富士見市都市計画審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議長に就く。

委員出席状況、委員14名のうち12名の出席により、富士見市都市計画審議会条例第6条第2項の規定に基づき、本日の会議が成立したこと。富士見市都市計画審議会の会議の公開に関する取扱要領に基づき、傍聴者はいないことを併せて報告した。

6 会議録署名委員の選出

富士見市都市計画審議会条例施行規則第8条第2項の規定により、会長が会議録署名

会 議 事 項

委員に「谷澤委員」と「尾崎委員」を指名。

また、本会議は原則公開であることが会長より述べられ、会議の公開について審査を行ったところ、非公開とする案件「なし」で進行することを了承された。

7 議 事

(1) 都市計画審議会の運営について

事務局から別添資料により、都市計画審議会の運営について説明。

質疑応答

委員：審議会で出された意見は計画に反映することは可能か。

担当：都市計画決定までの一連の手続きの中で、事前説明時点における反映は可能である。

(2) 富士見都市計画下水道の変更について（事前説明）

担当課から別添資料により、富士見都市計画下水道の変更について説明。

質疑応答

委員：本変更に伴う下水道整備事業費および国庫補助額の概算はどの程度か。また、公共下水道水洗化率について、水洗化率が低い地域の特性はあるのか。

担当：汚水施設については、開発事業者が公共下水道へ接続するための施設整備となるため、行政による整備事業費は発生しない。雨水施設については、平成26年から28年度の3ヵ年事業として尺地堀排水路の未整備箇所部分、約800メートルを整備する。整備事業費は、約3億5000万円であり、国庫補助率は2分の1となるが、近年の補助状況を見る限り満額までは見込めない。

また、水洗化率については、市街化区域の公共下水道で96.7パーセント、市街化調整区域の特定環境保全公共下水道で88パーセントとなっている。

会 議 事 項

委員：尺地堀排水路を下水道（雨水）施設に位置づけることに起因して新たな費用が生じるのか。

担当：通常の整備事業費が生じ、位置づけに起因する特別な費用は生じない。

委員：主要な下水管渠の表示について、排水面積1,000ヘクタールとあるが、表示される1幹線は1,000ヘクタール以上あるのか。

担当：すべての排水区域が1,000ヘクタール以下の場合でも、何らかの施設を定める必要があるとされていることから、排水面積の最も大きい「江川第4ノ1汚水幹線」を位置づけている。

委員：開発区域内の雨水排水先はどのようになっているのか。

担当：開発区域内は2つの排水区に分かれており、河川の氾濫を抑制するため一時的に施設内調節池に貯留し、敷地の南側区域は尺地堀排水路から新河岸川へ、また北側の区域は岡川から砂川堀へそれぞれ放流する。

委員：雨水排水路の整備にあたっては、動植物の生態系に配慮のうえ自然環境と調和した排水路として整備するよう要望したい。

8 閉 会 新井 幹事